



東陵山勝満寺

総永代経法要

〔東陵山勝満寺 門信徒総追悼法要〕

今年度より「総永代経法要」を勤めることとなりました。

「総」永代経法要とは、ご往生なされた先祖・先達方から仏縁を頂かれ、浄土真宗本願寺派寺院の門信徒として護寺して頂いている全門信徒の皆様と共に、先立たれた故人を偲びつつ、仏法を聞かせて頂くという法要です。お念仏のみ教えが永代に受け継がれていくよう、共々に仏法をお聞かせいただき、今後の当山の護寺発展の決意を共にさせていただきます。

今回は、副住職が代表、若坊守も所属の「京都若手僧侶法話勉強会こんぱす」より、
若手僧侶の布教大会として3人の若き僧侶がご法話をさせていただきます。



本願寺派布教使

熊谷 公証（佐賀教区佐賀組願正寺）

本願寺派布教使

桐原 俊哉

（大阪教区島下組西福寺）



臨床宗教師

小川 義徳（岐阜教区長良組覚願寺）



日時：**2019年6月22日(土) 14:30～**

浄土真宗本願寺派(西本願寺)

場所：**勝満寺**(安曇川町南市)

【総永代経とは】

永代経法要は、門信徒の方々によるご懇念によって、ご本山やお寺が護持され、お念仏のみ教えが永代に受け継がれていく法要であります。それは、いのちを恵まれた私たちが、法要をご縁として、仏恩報謝の心を表すことであり、その心はやがて子や孫に受け継がれ、み教えを聞き広めるご縁となります。ご法義を大切にされる方々の思いが、永代経法要であるとも申せるのです。

また、門信徒個人で寺院に永代経を進納なされ、特別に日時を設けて個別にお勤めする別時修行（別修）永代経法要があります（堂内の掲示札）。もし宜しければ、この度のご法縁に、大切な先達方の永代経（別修）のご進納をお考えいただければと存じます。別修永代経を進納して頂いた方、そして何より、日々、護寺などにご尽力頂いている全門信徒の方皆様合同で、“その後”を総じて、門信徒皆様と合同でお勤めする法要が総永代経法要です。ですので、決して他人事の法要ではありません。

お念仏のみ教えが永代に受け継がれていくよう、共々に仏法をお聞かせいただき、今後の当山の護寺発展の決意を共にさせていただきます。

【京都若手僧侶法話勉強会こんぱす とは】

「京都若手僧侶法話勉強会 こんぱす」は、関西を中心に日々お互いに研鑽を積んでいる若手僧侶が、現代に適した平易な言葉で老若男女に伝わる法話をすることを目指して、学びを深めている勉強会で、当寺副住職が代表（主宰）を務めています。



現在、若手僧侶が法話させていただく機会は、多くはありません。そうした現状から、経験を重ねる機会が欲しいという若手僧侶の思いをもとに、布教使を中心に「ともに学ぶ」という場を築きあげてきました。普段の勉強会では、全員が話せる機会がある3分間の「感話」から始まり、あらかじめ決めた法話者の実演、布教使を含めた全員からの講評、和讃の講読、専門用語を分かりやすく伝えるためのワークショップなどを行っています。

また、法話研鑽に加え、現在の様々な苦悩に添えていくため、実習や体験学習（ロールプレイ）などを通して、社会に求められる僧侶のあり方を共に深め、実践的な活動も行っており、現代社会で求められる苦悩に寄り添う僧侶のあり方をともに深め、宗教実践・社会実践に活かそうと活動している団体です。この勉強会の特徴は、京都にある様々な宗門機関より人が集まっているところです。この繋がりの方々の多さと、あらゆる方面の方々との情報共有及び、研鑽活動はこの勉強会の強みでもあります。私たちはその実践の場として、布教大会、並びにご門徒の方々との茶話会を実施しております。

昨年は、滋賀県では初となる布教大会を眞光寺の総永代経法要にて開催し、今回は第15回目となる若手僧侶による布教大会を、勝満寺にて実施する運びとなりました。

報恩講と並ぶ大切な法要ですので、ご家族も一緒に、ぜひ皆様お参りください！

勿論、一般のお聴聞も大歓迎です！

